

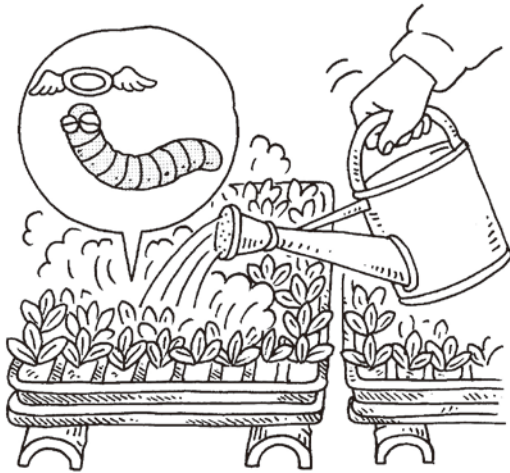


徳島から

お湯をかけてアオムシ退治、野菜が元気な

青山和樹

石井町に住む近藤正治さんは、キャベツの苗にアオムシが出たときと定植前に必ず1回、55〜60℃のお湯をかけています。熱ショックが作



用するのか虫や病気に強くなり、農薬を減らせるそうです。

お湯をかけるときは、木や竹を庭先に並べてキャベツのセル苗を載せます。台所の湯沸かし器から65℃くらいのお湯をジョウロに入れ、苗の頭からたつぷりかけてやるのです。お湯はすぐに抜けていくため、根が傷むことはありません。アオムシは卵も幼虫も死んでしまうので、畑に持ち込む心配がなくなります。葉のほうは煮えてしまうどころかその後は厚みが増し、病気に強くなるだけでなく、コクのあるキャベツができるそうです。

またエダマメやトウモロコシの苗にも、同じようにお湯をかけておいしい野菜をつくっています。しかし近所の農家はなかなか信じてくれず、正治さんは残念そうにしていました。



茨城から

タマネギのトウ立ちを抑える尿素追肥

原 敬介

茨城県のタマネギ産地、筑西市のタマネギ農家である国府田弘^{くわら}さんから、安くて簡単なタマネギのトウ立ち対策を教えてくださいました。使^{つか}うのは速効性の尿素です。

国府田さんは毎年11月上旬に定植を始め、元肥のチツソが切れ始める2月と3月の2回、尿素有^ありたり10kgずつまいていきます。雨が降る前日を見計^あらってまくと効率的です。こうするとタマネギは生殖生長に向かわず、トウ立ちを抑えることができるのだそうです。「チツソが切れると太りも悪いし、トウも立つから収量がグンと落ちる」と国府田さん。この尿素追肥は4年前から始めたことですが、近所の農家が「1〜2割はトウ立ちする」という年も、ほとんどトウが立たなくなりました。

ただしチツソが多いと病気が出やすくなるの

で注意が必要です。そのためタマネギの株が大きく育ち過ぎた年は通常2回まく尿素有^あり、2月の1回だけにしていきます。

トウ立ちを防ぐ尿素追肥、ぜひ試してみてください。





あっちの話

宮城から

キュウリの支柱でミニカボチャの空中栽培

森 潤一

登米市東和町の石坂信義さんは、13町の米に3反のキク、直売用の野菜十数種類の栽培に励む農家です。そんな石坂さんに手のかからないミニカボチャのつくり方を教えてもらいました。カボチャは普通、露地で地面に這わせて栽培しますが、石坂さんはハウスでつくります。キ



ユウリの露地栽培に使うアーチパイプとネットを使い、空中に実らせるのです。ウネは2列立てますが、片側の1列だけに4月に定植。つるが60cmほどに伸びた頃に、ウネ2列をまたぐように高さ1・8mのアーチパイプを立て、ネットを張ります。つるを紙テープで上に誘引してやると、アーチに沿ってやがて通路を覆うように伸びていくのです。早いもので5月の末に収穫。支柱はそのまま片づけません。次は7月にもう片方のウネに定植し、9〜10月末に収穫しています。

空中栽培なら、受粉や葉の裏側の消毒、葉かきがしやすくなります。作業がラクなので、ほかの作物をつくる合間にできます。直売所で人が出さない時期を狙って育てることができそうです。



埼玉から

接ぎ木苗で中山間地をサンシヨウの産地に

上野亮太

園芸関係の仕事をして60歳で退職し、ときがわ町大野地区で農業を営む岩瀬登志男さんに「特産部会」の活動を聞きました。

どこの中山間地でもそうですが、大野地区も担い手の高齢化や耕作放棄地の増加、イノシシやシカによる獣害に悩まされています。そんな中、なんとか特産品をつくれなにかと岩瀬さんが呼びかけ4年前に結成した地域の集まりが特産部会です。イノシシが食わず、管理も簡単で、傾斜地でも栽培できるということでサンシヨウを選びました。今は定年を迎え就農した人が多く集まり、40人で「山椒の会」としてトゲのない「朝倉山椒」を栽培しています。

苗木も手づくり。自生しているサンシヨウを掘り起こして台木にし、そこに購入した穂木を接ぎ木して山間部に植えています。挿し木より

も生長が早く、植えて3年目から実を収穫できます。最初はうまく接ぎ木できる人はほとんどいませんでしたが、岩瀬さんが講習会を開き技術を教えた結果、成功率が8割くらいの人も出てきました。特産部会ではサンシヨウの加工にも取り組んでいるそうです。





群馬から

花粉症、ツクシ炒めで治っちゃう

宮本奈緒

渋川市に住んでいる狩野数良かずよしさんは花粉症に長年悩んでいました。今までスギの葉を煎じて



飲んだり、ナツメの甘露煮を食べたりと、症状を軽くするといわれていることをいろいろ試してきましたが即効性なし。そこで『現代農業』2007年3月号でも紹介されたツクシを食べてみたところ、本当にくしゃみも鼻水も止まったそうです。

ポイントは出たばかりで小さく、胞子を出していないものを選ぶことです。茹でたり煮たりすると成分が抜けて効果が落ちると感じた狩野さん、おすすめの食べ方はオリブオイル炒めです。摘んできた一つかみのツクシの袴を取って、さっと洗って炒めるだけ。醤油と砂糖で味つけをして、これを食事とは別に薬と思って食べています。1シーズンに2、3回食べるだけです。効果が感じているそうです。薬と違って副作用がないので安心して試せる方法です。